

# 第九中学校・中央中学校 統合委員会ニュース 第 6号

発行：第九中学校・中央中学校統合委員会

このお知らせは、「第九中学校・中央中学校統合委員会」における協議の状況を地域の皆さまにお知らせするために発行しています。

## 部屋の構成について検討しました

中央中の位置に新しくつくる校舎については、今年度中に建築の基本構想・基本計画を策定する予定です。

統合委員会では、まず、部屋の構成の現在の考え方について事務局から説明を受けました。

<考え方（概要）>

- 普通教室は、今までの教室よりも縦横50cmずつ大きくした9.5m×7.5mとし、これを1コマとして全体を計画する。
- 更衣室は、スペースの関係上、生徒用と地域開放用の兼用とし、シャワーつきで0.75コマ×2室(男女)とする。プール用の更衣室は別途設置する。
- 部室は、学校での管理上の問題や、区内の他の中学校では設置していないことから、設置しない計画とする。ただし、屋外体育倉庫に部活用具(テニスのネットなど)を収納できるように検討する。
- 教育相談室は0.25コマ×3室、進路相談室は0.5コマ×1室を確保する。
- 資料室は、学年ごとに0.5コマを設置する。資料室の他に、主事倉庫、事務倉庫等を設置する。
- エレベーターは、人荷用と給食専用の2基を設置する。
- 理科室は、1.5コマ×2室を理科専用の教室とし、多目的室兼用で1.5コマ×1室を設置する。
- テニスコート専用のスペースは、校庭の形状が整形に近いので、設置するのは困難であると考え、他の競技と兼用する形で校庭を使用する。
- 通級学級の広さは、5コマ分のスペースを確保する。

(主な意見)

- 部室というスペースをしっかりとることができなかったとしても、必要な場所に必要な用具が置ける配慮をして欲しい。
- 校庭に専用のテニスコートが設置できないなら、開放を前提として、屋内に設けることはできないか。
- 通級学級については、トイレを5コマの枠外にするなど、さらに広くできるよう工夫してほしい。

## 建物の配置について検討しました

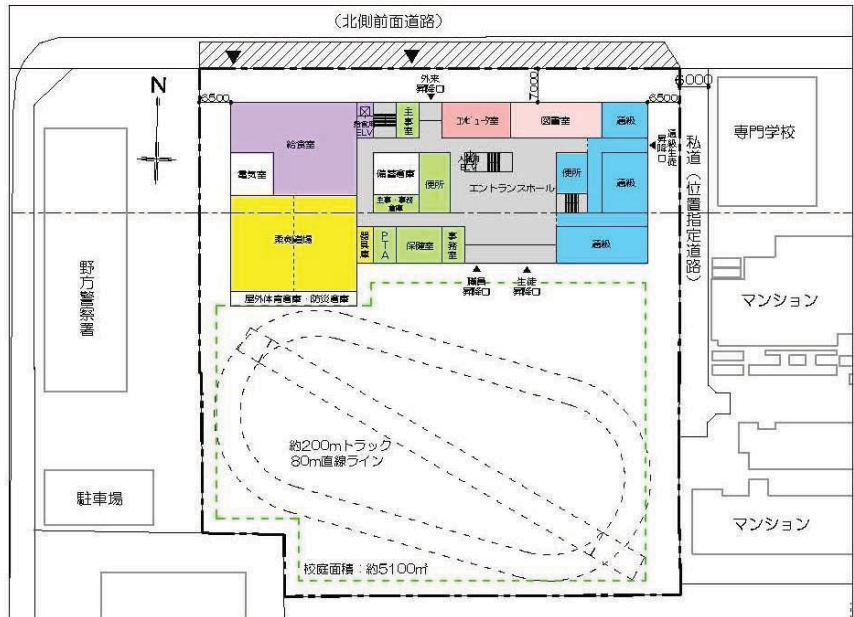
統合委員会では、部屋の構成を踏まえ、どのように建物を配置するかについて検討しました。事務局から4つの

案が示されました。

【1案】

- 最上階にプールを設置するため、空調の負荷、水供給の負荷が大きい。
- 重量のあるプールを最上階に配置するため、構造に対する負荷が大きい。
- 通風や採光は良好に確保できる。
- 特別教室を2～5階に、普通教室を3～5階に配置するため、生徒の動線は良好である。
- プールと柔剣道場が離れているので、開放するには多少工夫が必要である。

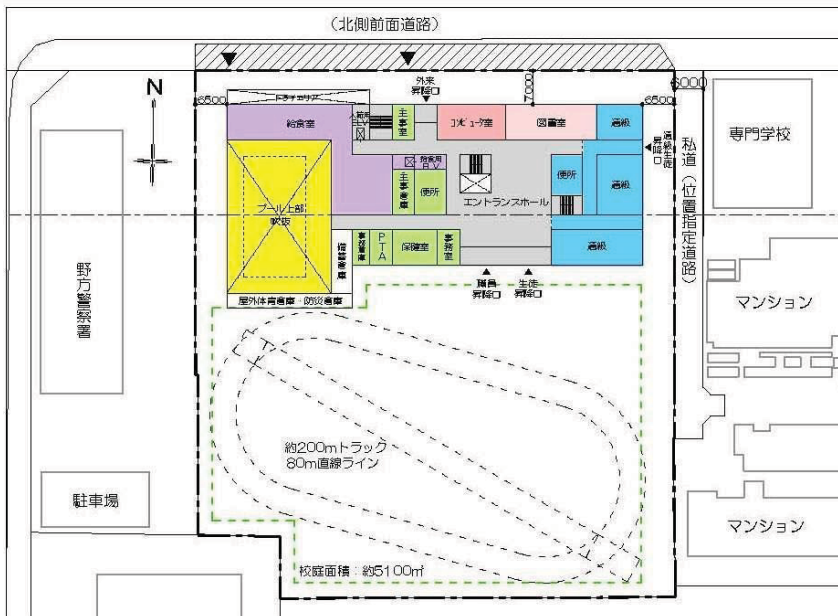
1案：地上案 ～柔剣道場を1階、屋内プールを最上階に設置する～



断面イメージ (S=1/1000)

屋内プール	普通教室	特別教室	5F
屋内運動場	普通教室	特別教室	4F
	普通教室	特別教室	3F
柔剣道場	地域開放	管理諸室	2F
	給食室	地域開放	管理諸室
▽GL			

2案：半地下案 ～柔剣道場を最上階、屋内プールを半地下に設置する～



断面イメージ (S=1/1000)

柔剣道場	普通教室	特別教室	5F
屋内運動場	普通教室	特別教室	4F
	普通教室	特別教室	3F
屋内プール	地域開放	管理諸室	2F
	給食室	地域開放	管理諸室
▽GL			
			B1F

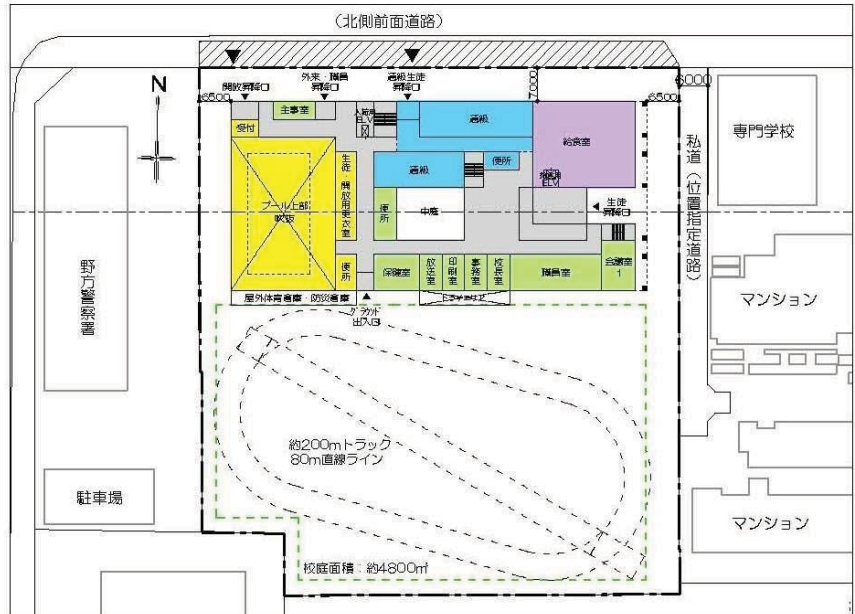
【2案】

- プールを地下に設置するため、空調や水供給の負荷、構造に対する負荷は小さい。
- 通風や採光は良好に確保できる。
- 特別教室を2～5階に、普通教室を3～5階に配置するため、生徒の動線は良好である。
- プールと柔剣道場が離れているので、開放するには多少工夫が必要である。

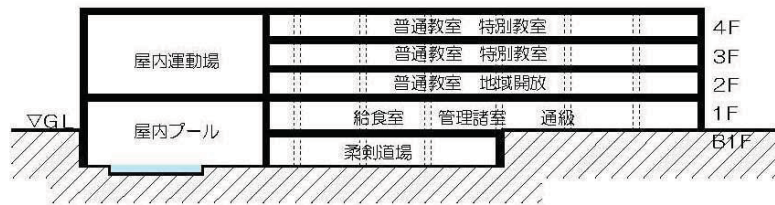
【3案】

- プールを地下に設置するため、空調や水供給の負荷、構造に対する負荷は小さい。
- 校舎を4階にしているので、校庭には出やすい。
- プールと柔剣道場が近く、開放しやすい。
- 柔剣道場が地下にあるので、結露や臭気対策等、換気を十分に行う必要がある。
- 地下階がフロアの半面あるので、建築費や工事期間がかかる。
- 校庭が他案より若干狭い。

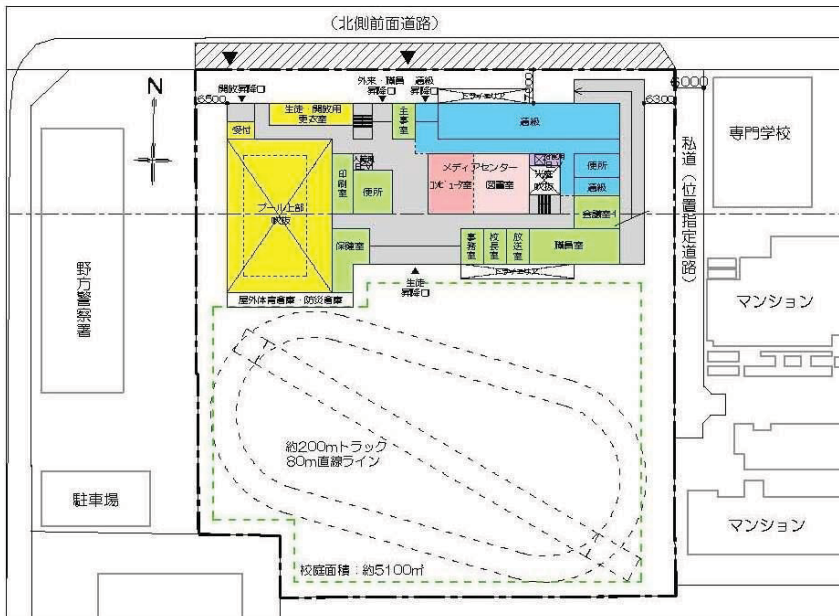
3案：半地下案 ～柔剣道場を地下1階、屋内プールを半地下に設置する～



断面イメージ (S=1/1000)



4案：地下設置案 ～柔剣道場と給食室を地下1階、屋内プールを半地下に設置する～



断面イメージ (S=1/1000)



【4案】

- プールを地下に設置するため、空調や水供給の負荷、構造に対する負荷は小さい。
- 校舎を4階にしているので、校庭には出やすい。
- プールと柔剣道場が近く、開放しやすい。
- 柔剣道場が地下にあるので、結露や臭気対策等、換気を十分に行う必要がある。
- 地下階がフロア全面になるので、建築費や工事期間が大きくなる。

(主な意見等)

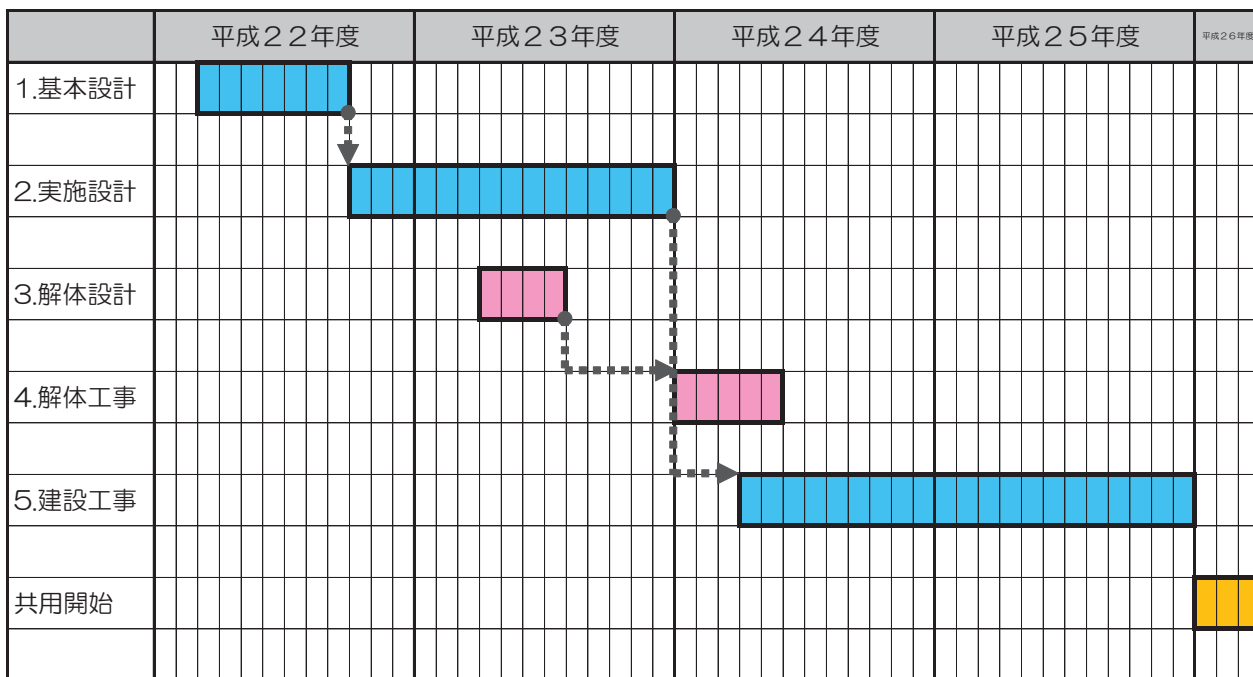
- これからの話になると思うが、何か目玉となるようなものがあるのか。ただの箱物を新築するのではなく、見学者が絶えないようなすばらしい学校にしたい。
- 地下を利用するという案は、子どもの動線を考えたときに非常にいいと思う。
- 子どもたちの教育環境を考えたときには、明るさはとても大事な要因である。光がうまく取り入れられる案がよい。
- プールが最上階にあるのは、設計、構造上もよくない。プールは地下を利用した案をとっていただきたい。
- 図書室、コンピュータ室のメディアセンターというものが、これから目玉の一つになり得るのではないかという思いがある。
- 普通教室のある各階に、学年ごとの集会や保護者会ができるようなスペースを配置するような設計をしていただくと助かる。

☆ 協議の結果、統合委員会としては、【2案】【3案】【4案】について検討を進めることとしました。

## 工事スケジュールについて

現在検討している校舎建設のスケジュールについて、考え方が示されました。

平成22年度から23年度にかけて設計が行われ、平成24年度から25年度にかけて工事、平成26年度に新校舎での授業が開始される予定です。(第九中と中央中の統合新校は、平成24年度に現在の第九中の位置で開校予定)



第九中学校・中央中学校統合委員会ニュース 第6号  
 編集・発行：第九中学校・中央中学校統合委員会  
 事務局：中野区教育委員会事務局学校再編担当  
 TEL:03-3228-5548 FAX:03-3228-5679

今後の統合委員会は、  
 2月19日(金)  
 に開催する予定です。

※ 統合委員会の会議要旨は、区役所5階教育委員会事務局学校再編担当もしくは教育委員会ホームページでご覧になれます。